

2011年度

科目名	西洋史概説A		
担当教員	小林 典子		
配当	文財2・人社2	コード	13042
開期	前期	講時	月曜日3限
		単位数	2
授業テーマ	「西洋史入門—現代から眺めるヨーロッパの歴史:ヨーロッパの誕生から中世まで」		
目的と概要	遠くは古代ギリシャ・ローマに源を発し、現代まで悠々とながれるヨーロッパの歴史を、その誕生から現代までを概観します。ヨーロッパの歴史と文化がどのようなものであり、また、わたしたちの生活にどのような意味をもつのか。ヨーロッパ史のもつ、歴史的時間の限りない深さと広大さ、そして豊饒さを実感しえる授業にしたいと思いません。授業は建築・彫刻・絵画・都市などの数多くの視覚資料を、スライドやビデオなどの教材を用いて紹介しながらおこないます。		
成績評価法	学期末に提出するレポート(70%)+平常点や授業時のミニ・レポート(30%)		
テキスト	授業中に資料配布		
参考書	『<ビジュアル版>ヨーロッパの出現』(樺山紘一 講談社) 『山川世界史総合図録』		
履修に当たっての注意・助言/準備学習	覚える歴史でなく、考える歴史へと発想転換し授業にのぞんでほしい。 授業でとりあげるトピックスを介して、歴史の最前線としての現在—わたしの今・ここを考える。 レポートは授業内容との関連を重視するので、しっかりとノートを取ることを。		
講義計画			
第1回	開講にあたって：授業プログラムとオリエンテーション —現代からながめるヨーロッパ史—		
第2回	西洋史の対象と方法（1） 「西洋」とはなにか—地理的概念と時間的概念		
第3回	西洋史の対象と方法（2） 「西洋」をどう見るか 新しい西洋史：「アナール」学派の試み（日常史、心性史、感性の歴史）		
第4回	西ヨーロッパの成立（1）ケルト文化		
第5回	西ヨーロッパの成立（2）ゲルマン民族大移動		
第6回	西ヨーロッパの成立（3）カール（シャルルマーニュ）の帝国		
第7回	古代地中海世界：ギリシャ世界の遺産		
第8回	古代地中海世界：ローマ世界の遺産		
第9回	キリスト教とその文化		
第10回	キリスト教とその文化		
第11回	キリスト教とその文化		
第12回	ロマネスク文化—中世の農村と修道院		
第13回	ゴシック文化—サン・ドニ修道院と修道院長シュジェール		
第14回	都市と市民—都市の空気は自由にする—		
第15回	まとめ		